



いい育成の日 あいさつ運動

今朝は、11月19日にちなんで「イ・イ・イ・ク」という語呂から、「いい育成の日」として、朝から青少年育成協議会や民生員会の方々、そしてPTAの皆さんによるあいさつ運動が行われました。朝から寒くて、子供たちも下を向きがちに歩いていましたが、たくさんの人が黄色門や緑門に立っているのを見ると、顔を真っすぐに上げて「おはようございます。」と大きな声であいさつをしていました。



あいさつ運動に参加してくださった方々も、温かい目線で子供たちを見つめてくださり、地域と一体となって子供たちを育む様子が伝わり、「いい育成」に繋がるいい一日のスタートを切ることができました。

参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

今日は何の日 世界トイレの日

今日11月19日は、2013年7月の国連総会で「世界トイレの日」と制定されました。2001年のこの日、世界トイレ機関が設立され、また「世界トイレサミット」が創設されたことに由来するそうです。これは、加盟国にトイレの普及を促し、衛生環境の改善につなげることを目的としています。日本にいますと「トイレの普及？」



という言葉に違和感を覚えますが、世界ではいまだに、3人に1人にあたる約23億人がトイレを使えない現実に直面しています。トイレを使えない人々は、道端や草むらなど、屋外で排泄することになり、その排泄物に含まれる病原菌が、人の手やハエなどの虫、川、地面などを介して人の口に入り、下痢や風邪などの病気を引き起こす危険があり、命を落としてしまうこともあるのです。また、このトイレ事情により、「用を足している姿を人に見られるかもしれない」という不安は、特に思春期を迎えた女の子には切実な問題で、トイレがないために学校を休む女の子も多くいるそうです。

先週、学校の校庭にある通称「ジャングルトイレ」がとても汚れていましたが、4年生の子供たちがきれいに掃除をしてくれました。清潔なトイレで、安心して用を足せる環境づくりは、学校としても重要な取り組みだと改めて実感する日でもあります。